

# じゃっと新聞

NO.46号

発行日：2006.11.10

発行人：小幡 順子

発行所：NPO 法人じゃっと 事務局

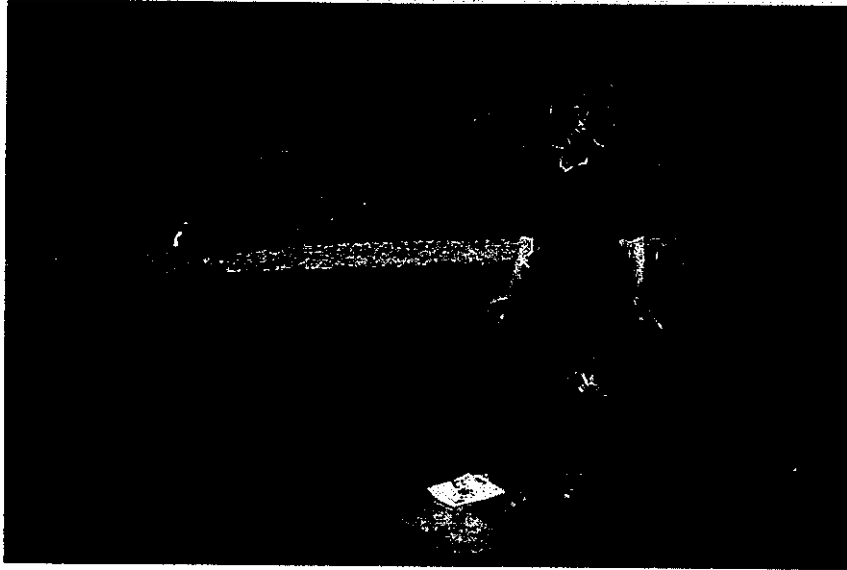
〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町

11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail [jaddo@po2.synapse.ne.jp](mailto:jaddo@po2.synapse.ne.jp)

<http://www2.synapse.ne.jp/jaddo/>



メコン川で洗濯する女性。笑顔がまぶしい

みなさんは、東京にある JICA「地球ひろば」に行かれたことはありますか？そこは児童生徒達が、国際問題や国際協力を学習できるように色々な工夫がされた展示会場でもあります。

その一角に「文字や言葉」をテーマにしたコーナーがありました。「あなたは熱があります。三種類の薬の中から選んで飲んでください」と書いたプレートの下には、錠剤、粉薬、水薬が並んでいます。それぞれに薬の効能などが書かれているようですが、まったく見たこともない文字でチンプンカンプンです。他にも一番お得な果物一山はどれでしょう、など4つの質問がありました。係の人に尋ねるとそれぞれアフリカやアジアなどの奥地で実際使われている文字らしいのですが、さっぱりわかりません。

私の選んだ薬は、腹痛の薬でした。命を落とす事

会長 小幡 順子

はないでしょうが、劇薬だったらとぞっとします。また、私の選んだ果物の山はちょうど中間の値段でした。ちょっと損をしたことになります。

文字を読めると、何が変わるのか。このように薬品の注意書きや道路標識が理解できるし、金銭的にもゆとりが生まれます。また、本や新聞などを読むことで新しい考えかたを取り入れて、人生の可能性が広がります。

過去10年間で、世界の識字率は大幅に向上し、単に本が読める以上の大きな効果を生んでいます。このように文字にもっと触れてもらうために、ラオス教育省に JICA 指導者として活躍された沢田先生が、この度ビエンチャン市内に地域図書館を開設されます。「じゃっと」も沢田先生の活動に協力していく予定です。

## 鹿児島大学生の授業「国際協力のすすめ」

5月に帖佐事務局長が講義したときの鹿児島大学生たちのレポートからの抜粋です。

★黒柳徹子さんの「ボランティアというのは自分自身を知ることだと思う。自分自身が少しずつでもわかってくれば、人に対して自然に優しい心を持つことができる」に感銘を受けた。 R.H(男)

★以前母校でラオスへ机を寄付したことがあったので、ラオスのことは知っていたが、こんなにも日本と違うとは思わなかった。衛生面での常識もほとんどない事がショックだった。少しの知識とお金でたくさんの子供たちを助けられるのなら、どうか助けてあげたい。 C.H (女)

★ラオスには地雷が残っている所もとても多く、5歳未満の死亡率も高かった。しかし薬があれば、肺炎はなおるし、安全な水とトイレがあれば、下痢を防げるのに、不十分である現状を知ることができた。その代わりに、ポカリスエットや塩と米のおもゆが飲食されることには驚いた。 M.O(女)

★ラオスは貧しくても、皆で協力しあって生きているんだと知った。地域社会のつながりはすばらしいと思う。日本では薄れていっている気がして少し寂しくなった。国はただ発展していくだけではなく、自国のいい部分を残していくのも大事だ。いつか世界が一つの国になればいいと思う。 A.B(女)

★日本以外の人々の暮らしに興味を持つことが先ず最初の国際支援になるのだと思った。 F.I(女)

★物資を援助しても現地の人々は生活苦のため、市場で売るといふ話はショックだった。援助の方法にも工夫が必要だと知り勉強になった。 R.M(男)

★現地の人にとって一番やりやすいように手助けしていくべきだと感じました。何かをしてあげるの

ではなく、皆で一緒にやるのが大事なのだという事を学んだ。 K.F(女)

★国際協力するときには、こちらから一方的に何かをしてあげるのではなくそこに住んでいる人々と一緒になって協力し合うことが大切だと痛感した。協力される側が一番何を求めているか、要らないものをあげるのではなく、必要としている物を買えるようにお金をあげるという考え方が必要なのだと感じた。 Y.H(男)

★面白いと感じたことは、ラオスの子供たちは授業の時にうつぶせになるということだった。日本だと確実に先生に注意される姿勢なので、なぜ良い姿勢といわれるのか知りたいです。又ラオスの人々はよく歌とか歌うらしいので、とても明るい人々だと感じた。 Y.U(男)

★国際協力とひとことで言っても、仕事だったり勉強だったりボランティアでも有償と無償が両方あったりする中で、非営利組織は群をぬいてすばらしいものだと感じた。 K.K(女)

★今は全て親のお金に頼っているので正直、寄付とか全く考えたこともない。だけど、バイトではなくて、自分が安定した生活ができるくらい稼げるようになったら今日の授業を思い出して、自分の事だけでなく、発展途上国の人々の生活等に関心を注いでいけたらと思う。 R.O(男)



ありがとうございました。

## 鹿児島大学生の授業「国際協力のすすめ」

5月に帖佐事務局長が講義したときの鹿児島大学生たちのアンケート抜粋です。

★黒柳徹子さんの「ボランティアというのは自分自身を知ることだと思う。自分自身が少しずつでもわかってくれば、人に対して自然に優しい心を持つことができる」に感銘を受けた。 R.H(男)

★以前母校でラオスへ机を寄付したことがあったので、ラオスのことは知っていたが、こんなにも日本と違うとは思わなかった。衛生面での常識もほとんどない事がショックだった。少しの知識とお金でたくさんの子供たちを助けられるのなら、どうにか助けてあげたい。 C.H(女)

★ラオスには地雷が残っている所もとても多く、5歳未満の死亡率も高かった。しかし薬があれば、肺炎はなおるし、安全な水とトイレがあれば、下痢を防げるのに、不十分である現状を知ることができた。その代わりには、ポカリスエットや塩と米のおもゆが飲食されることには驚いた。 M.O(女)

★ラオスは貧しくても、皆で協力しあって生きているんだなと知った。地域社会のつながりはすばらしいと思う。日本では薄れていっている気がして少し寂しくなった。国はただ発展していくだけではなく、自国のいい部分を残していくのも大事だ。いつか世界が一つの国になればいいと思う。 A.B(女)

★日本以外の人々の暮らしに興味を持つことが先ず最初の国際支援になるのだと思った。 F.I(女)

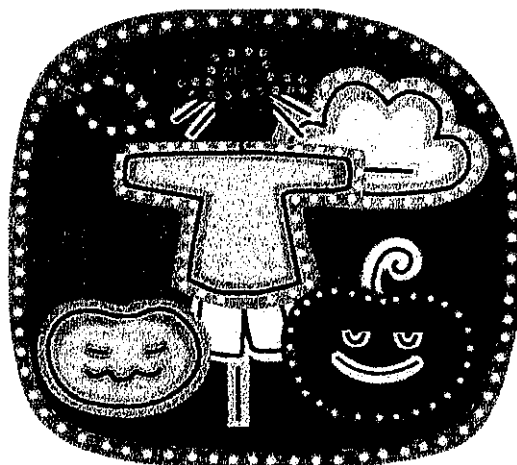
★物資を援助しても現地の人々は生活苦のため、市場で売るという話はショックだった。援助の方法にも工夫が必要だと知り勉強になった。 R.M(男)

★現地の人にとって一番やりやすいように手助けしていきべきだと感じました。何かをしてあげるのではなく、皆で一緒にやるのが大事なのだという事を学んだ。 K.F(女)

★国際協力するときには、こちらから一方的に何かをしてあげるのではなくそこに住んでいる人々と一緒になって協力し合うことが大切だと痛感した。協力される側が一番何を求めているか、要らないものをあげるのではなく、必要としている物を代えるようにお金をあげるという考え方が必要なのだと感じた。 Y.H(男)

★面白いと感じたことは、ラオスの子供たちは授業の時にうつぶせになるということだった。日本だと確実に先生に注意される姿勢なので、なぜ良い姿勢といわれるのか知りたいです。又ラオスの人々はよく歌とか歌うらしいので、とても明るい人々だと感じた。 Y.U(男)

★国際協力とひとことで言っても、仕事だったり勉強だったりボランティアでも有償と無償が両方あったりする中で、非営利組織は群をぬいてすばらしいものだと感じた。 K.K(女)



ありがとうございました。

## 【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2006年7月～2006年10月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきます。（以下敬称略）

- 新規会員 鹿島直子（鹿児島市）
- 平成17年度会費 浦島博文（薩摩川内市）
- 平成18年度会費 安部良宣、牧田弘子、上野昌子、小城順子、松永良恵、菱刈昭郎、菱刈明子、中野育子、増岡淳子、田中律子、浦島博文、神彰男、土川京子、小倉邦子、渡辺裕子、三本稔世、今村久美子（薩摩川内市）高橋栄子、宇津木和子、小林義郎（東京都）齋藤洋史、森田由夫（埼玉県）中村睦子（志布志市）桑原美智子、馬場寛利、鹿島直子、清川照美、時村誠一、時村睦子、坂上恵子（鹿児島市）川添寿（日置市）姫野治子、横林宙世（福岡県）隈元郁子（霧島市）松永由里子、松永武志（阿久根市）鎌田到（北海道）岩崎岩男（熊本県）望月明子（神奈川県）中村武（佐賀県）小幡順子（南さつま市）鈴木琴子（茨城県）熊谷銀次郎（兵庫県）高木史江（富山県）前原よし（千葉県）中村律子（出水市）
- 平成19年度会費 安藤ツギエ、牛ノ浜妙子、関隆子、矢野千鶴子、新原千恵子、上野昌子、小城順子、山本澄子、湯之谷千恵子、南修、南恭子（薩摩川内市）宇井豊（神奈川県）鮫島久志、鮫島節子（兵庫県）大熊昭晴、大熊京子、国田宏、木場真一（東京都）内田和子、林美知子（福岡県）鹿島友義、鹿島直子、時村ヨシ、東香代子（鹿児島市）中村安秀（大阪府）藤井洋（千葉県）高野眞綾（埼玉県）
- 平成20年度会費 上野昌子（薩摩川内市）中村安秀（大阪府）
- 平成21年度会費 上野昌子（薩摩川内市）
- 平成22年度会費 上野昌子（薩摩川内市）
- 寄付金 宇井豊（神奈川県）山本澄子、神彰男、今村久美子（薩摩川内市）鹿島友義、鹿島直子、坂上恵子、東香代子（鹿児島市）小幡順子（南さつま市）望月明子（神奈川県）高野眞綾（埼玉県）高木史江（富山県）コンサップ、ソムチット・アッカボン（ラオス国）
- 机、いす募金 2口：山本澄子、（薩摩川内市）、大熊昭晴、大熊京子（東京都）望月明子（神奈川県）高野眞綾（埼玉県）坂上恵子（鹿児島市）1口：宇井豊（神奈川県）、中馬美智（日置市）木場真一（東京都）神彰男、今村久美子、帖佐理子、小倉イソ、立島尚子（薩摩川内市）高橋真弓（い

ちき串木野市）松永由里子（阿久根市）時村誠一（鹿児島市）高木史江（富山県）

- 物品提供 南九州ペプシ
  - 委託販売 Cuir Hair 仮屋洋子
  - 印刷(振込用紙) アクティブ（神崎）
  - 新聞作成 神崎侯至 宮脇美智子 高橋真弓
- ☆☆ありがとうございました。☆☆

## 【国内活動】

- 7月5日 市役所コミュニティ課（馬場氏、高橋氏）事務所訪問
- 7月12日 薩摩川内市共生、協働懇話会（帖佐事務局長、高橋事務局員）
- 7月19日 ニュースレター 45号郵送
- 7月24日 じゃっどホームページ更新
- 7月27日 鹿児島県共生、協働推進大会参加（小幡会長）
- 9月8日 プレート作製の打ち合わせ
- 9月14日～16日 NGO-JICA相互研修参加（小幡会長）
- 10月5日 西日本新聞社川内支局長取材（NPOじゃっどについて）
- 10月6日 理事会（小幡、帖佐、古田、宮脇）
- 10月25日 南九州ペプシ 事務所訪問
- 10月28日～29日 純心大学祭バザー参加（立島尚子、柴こうこ、高橋真弓、小幡順子 宮脇美智子、増岡淳子、純心女子大生6名）
- 第6回川のワークショップ IN 川内川にて発表（小幡会長）
- 10月31日 H.Sアンツ理事長他2名 事務所訪問



純  
大  
祭

### ■ 会費納入のお願い

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。引き続きご支援くださいますようお願いいたします。

郵便局： 0250-2-4746 口座名 JADDO

## 2006 年度 NGO-JICA 相互研修に参加して

理事長 小幡順子

さる9月14日から16日の3日間、東京広尾にある「地球ひろば」にて開催された NGO-JICA 相互研修に参加しました。この研修会は、開発教育に重要なキーワードの一つを手がかりに、国際協力に必要なことは何だろうかを探ること、そしてその過程での討論を通してお互いの長所短所を知り合おうというものです。

今年のキーワードは「ガバナンス」でした。通常企業経済界で「ガバナンス」という言葉は、統制や統治という意味で使われる事が多いようですが、国際協力の世界では「各アクター（住民・行政・NGOなど）が協力連帯して作り上げていくしくみ」ともいえるものです。この「ガバナンス」という言葉の概念を共有し、「グッドガバナンス」を作り上げるのに必要な要素は？ やってはいけないことは？ NGO, JICA としての特徴は？等、こんなに一つの事を考えつくした事はな〜いというほど議論をしました。

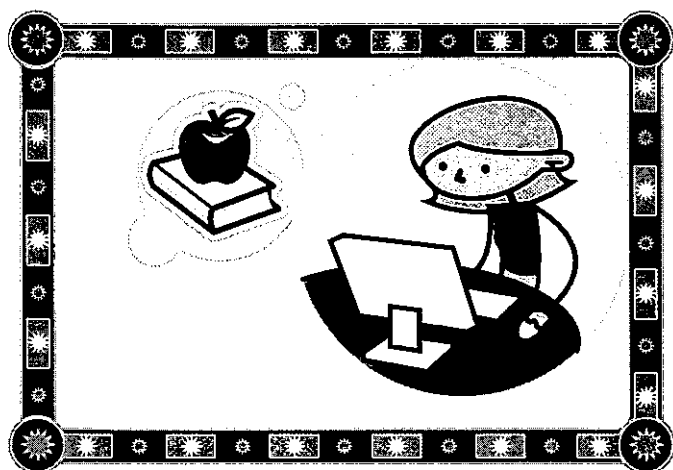
そして、議論するだけでなく、その結果をグループごとに発表・質疑応答するという、「まとめる」「見直す」という活動まではいつている研修です。一つの活動を行なうためには、「計画、実行、見直し、再検討立案」を行うという実際の国際協力活動に模した研修内容となっているのです。

毎年この時期に開催されている研修会です。興味のある方は是非ご参加ください。

★ ジャっどプレートを作成中です。ジャっどが今まで活動対象としてきた学校等にジャっどの足跡として残してくる予定です。

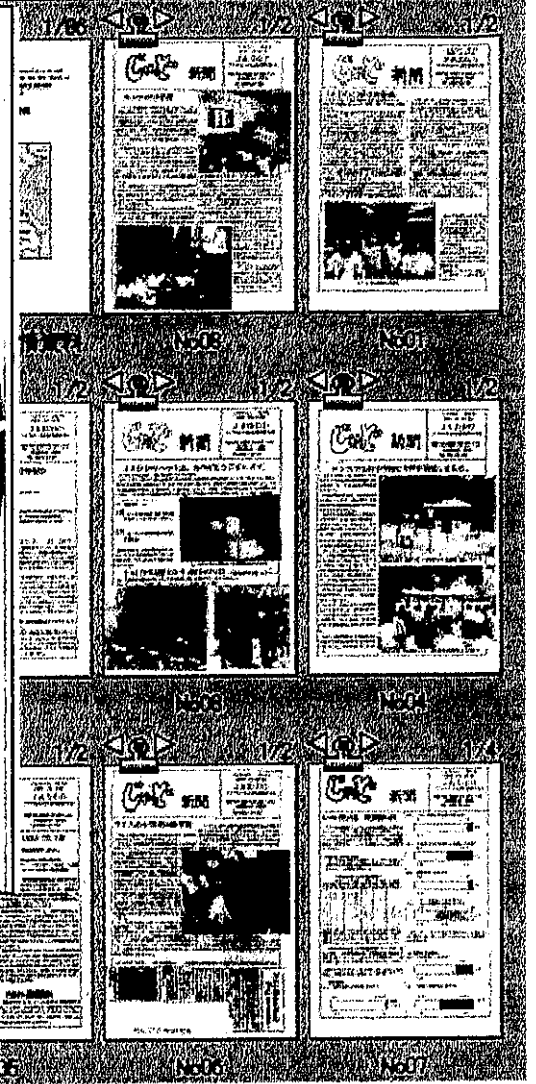
以下、机イスの供与、トイレ、井戸建設等をしてきた対象校です。

Donkalum(ドンカルム)小学校  
Nalerth(ナテ)小学校  
Nonsawang(ノンサワン)小学校  
Thadua(タドゥア)小学校  
Thalath(タラート)小学校  
Phnh Thong(フォントン)小学校  
Nonbong (ノンボン) 小学校  
Dohonovame(ドンヌアン)小学校  
Nonkho(ノンコー)小学校  
Houakoua(ファクア)小学校  
Amon(アモン)小学校  
Dongkhag(ドンニャイ)小学校  
Nahai(ナハイ)小学校  
Nongken(ノンケン)小学校  
Nathe(ナテ)小学校  
Nonkilek(ノンキレック)小学校  
Samket(サムケット)小学校  
Samke(サムケ)小学校  
Hualua(ホアクア)小学校  
Nongkheng(ノンケーン)小学校  
Nonsagna(ノンサグナ)小学校  
Phonh thong(フォントン)小学校  
Nalerth (ナラート) 小学校  
Donsary(ドンシャーリー)小学校



\* 現時点で、机イス募金をを 685 名(重複含む)の皆様から頂戴しています。ありがとうございます。

じゃっどの12年間の活動報告（じゃっど新聞）のCDができあがりました



じゃっど新聞の全てと沢山の写真で構成され12年の歴史がわかるCDです  
ドキュワークスで収められています  
(パソコンで閲覧できます)

イメージです

ドキュワークスのダウンロード方法

- 富士ゼロックス で検索をする
- 富士ゼロックスダウンロードを選択する
- 閲覧用ソフトウェアDocuWorks ViewerLightを選択

DocuWorks Viewer Light

ソフトウェア名称	動作対象OS	更新日
NEW!! DocuWorks Viewer Light 6.1.1 日本語版	Windows® 98 SE/Me Windows® 2000/XP	2006年10月6日
DocuWorks Viewer Light (for Mac) 6.1 日本語版/英語版	Mac OS X	2006年6月13日
DocuWorks Viewer Light (for Pocket PC) 6.0.1 日本語版	Pocket PC 2002 Windows Mobile™ 2003	2005年7月1日
DocuWorks Viewer Light (for Linux Zaurus) 6.0.1 日本語版	Linux(Linea uLinux) Linux(OpenPDA)	2005年7月1日

OSを選択して実行してください

じゃっど新聞がページをめくるように閲覧できるようになります

会員の皆様にCDの販売いたします  
「じゃっど12年の歩み」送料込み300円です  
事務局の申込ください